

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005001	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	辞書無しでも英文が読めるようになる。 英文の要点が解るようになる。 英文の内容を推測できるようになる。 色々な地域で使われる英語の聞き取りができるようになる。 リスニング教材の要点が解るようになる。 リスニング教材の内容を推測できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 60% 学期中に2回行う小テスト20% Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10% + 2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	TOEIC 470 ~		
教科書・教材・参考書 / Materials	The TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	定期試験の受験資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction プリントを使用した学習は毎回行う。
第2回	Unit 1 予定 動詞・五文型
第3回	Unit 2 数量を尋ね名詞名詞
第4回	Unit 3 命令・依頼 形容詞・副詞
第5回	Unit 4 広告・宣伝
第6回	Unit 5 時間を尋ねる 動名詞
第7回	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第8回	Unit 6 場所を尋ねる to 不定詞
第9回	Unit 7 確認 分詞
第10回	Unit 8 留守電
第11回	Unit 9 アドバイス 受動態
第12回	Unit 10 誘い 比較
第13回	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第14回	Unit 11 申し出 関係詞
第15回	Unit 12 講演者紹介 まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005002	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、ゲーム障害、フェイクニュース騒動、地球外生命体の存在、ペットショップの是非など、あらゆる記事を通して、これらの内容について理解を深め、記事に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。</li> <li>2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。</li> <li>3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (15回 × 1点 = 15点) + 定期試験 (45点) + e-learning教材学習テスト (20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間 / 回)</li> <li>・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間 / 回)</li> </ul>		
キーワード / Keywords	AI		
教科書・教材・参考書 / Materials	Let's Work with AI! (三修社) 1,800円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/10)	(対面) Introduction
第2回 (4/17)	(対面) Unit 1 Extra Terrestrials
第3回 (4/24)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Issue Fatigue on Womenomics
第4回 (5/8)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Gaming Disorder
第5回 (5/15)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Pet Shops
第6回 (5/22)	(対面) Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Teleworking
第7回 (5/29)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Human Coexistence with AI
第8回 (6/5)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Fake News
第9回 (6/12)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Delivery and Self-catering
第10回 (6/19)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Facial Recognition Systems
第11回 (6/26)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Japan's Immigration Policy
第12回 (7/3)	(対面) Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Equal Pay for Contract Workers?
第13回 (7/10)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Revived Brains
第14回 (7/24)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Preventing Elderly Driver Accidents
第15回 (7/31)	(対面) Unit 14 Renewable Energy in Japan 総復習



学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005003	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2J3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。</p> <p>(2) 話すことと聴くことの技能を身に付ける。</p> <p>(3) 暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。</p> <p>(4) 語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。</p> <p>(5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。</p> <p>(6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。</p> <p>(7) 英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に組み立てることができるようになる。</p> <p>(2) 英語の単語や表現を声に出して練習し、正確で美しい発音ができるようになる。</p> <p>(3) 声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用して、さらには自らの意見を英語で表現できるようになる。</p> <p>(4) CDを活用し、何度も聴いてリピティングをすることでリスニングの指導を行い、英語を正しく聴き取れるようになる。スキルの定着を図り、英語の能力を向上させることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(50%) + Power Words Hybrid 単語テスト(20% = 10% + 10%) + 小テスト(15%) + 積極的な授業への取り組み(15%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>授業時間（ 15時間 ）、事前学修時間（ 15時間 ）、事後学修時間（ 15時間 ）の、合計45時間の学修を必要とします。</p> <p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（ 2時間 / 回 ）</li> <li>・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次 の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（ 2時間 / 回 ）</li> </ul> <p>Power Words Hybrid 単語テストの自学学習を計画的に行うこと。（ 合計30時間 ）</p>
キーワード/Keywords	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解
教科書・教材・参考書/Materials	『Enjoying English through Pop Songs ソングス & カルチャー』（ 関戸冬彦 / 小林愛明 他 : 朝日出版社 ） 音声教材は無料配信されています。 <a href="http://text.asahipress.com/free/english/">http://text.asahipress.com/free/english/</a> 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして音声教材を聴いてから臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。音声教材を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	導入・授業内容の説明（対面）
第2回 4月17日	UNIT 1 Stand by Me
第3回 4月24日	UNIT 2 Jailhouse Rock
第4回 5月 8日	UNIT 3 Blowin' in the Wind
第5回 5月15日	UNIT 4 Puff, the Magic Dragon
第6回 5月22日	UNIT 5 I've Gotta Get a Message to You
第7回 5月29日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 6 Bridge Over Troubled Water
第8回 6月 5日	UNIT 7 Take Me Home, Country Roads
第9回 6月12日	UNIT 8 Imagine
第10回 6月19日	UNIT 9 I Need to Be in Love
第11回 6月26日	UNIT 10 Honesty
第12回 7月 3日	UNIT 11 Hotel California
第13回 7月10日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 12 I Just Called to Say I Love You
第14回 7月24日	UNIT 13 '80s
第15回 7月31日	UNIT 14 '80s
第16回 8月 7日	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005004	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日授業前、及び12時~12時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングを有機的に関連づけ、各ユニットのトピックを学習する中で、インプットからアウトプットの流れの中で英語力を身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 英語の母音、機能語と内容語におけるストレスの位置、同一単語の弱形、イントネーション、リンキング等の英語の発音に慣れ、それをアウトプット (スピーキング) で実践できるようになる。 (2) 各ユニットにトピックについてインプット (リスニング&リーディング) した後、使用頻度の高い表現を使ってアウトプット (スピーキング、ライティング) できるようになる。 (3) 現代社会が抱える様々な問題について主体的に考え、解決方法を見つけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10% + 2回目 10%) (2) ユニット予習・復習クイズ 40% (3) 定期試験 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	(1) Power Words Hybrid 自学自習 (合計30時間) (2) 教科書各ユニットの事前学習 (0.5時間/回) LACSにて予習確認テストを課す (3) 教科書各ユニットの字語学習 (0.5時間/回) LACSにて復習確認テストを課す		
キーワード / Keywords	アウトプット		
教科書・教材・参考書 / Materials	Robert Hickling & Shun Morimoto (2023) English Echo: Advancing Listening Proficiency with Inspiring Topics, Cengage Learning		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は原則対面でおこないます。ただし状況の変化によっては一部オンライン授業を導入する可能性もあります。
学生へのメッセージ/Message for students	教科書各ユニットクイズの成績評価内訳を多めにしているので、予習・復習をしっかりとこなしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月10日)	Unit 1 Digital Detox *対面授業 Listening: dark Lの発音 Grammar: 動名詞 Speaking: 頻度を表す表現を使った会話
第2回 (4月17日)	Unit 2 The Sharing Economy *対面授業 Listening: /s/ と /sh/の違い Grammar: 現在分詞の形容詞的用法 Speaking: 会話の前置きの表現
第3回 (4月24日)	Unit 3 Clothes & Fashion *対面授業 Listening: 二重母音 Grammar: 可算名詞と不可算名詞 Speaking: 話題の変換
第4回 (5月8日)	Unit 4 What Is Animal Intelligence? *対面授業 Listening: 前置詞toの弱形 Grammar: to不定詞の形容詞的用法 Speaking: 例を挙げる際の表現
第5回 (5月15日)	Unit 5 The Power of Grit *対面授業 Listening: リエゾン (連結) Grammar: 目的を表すto不定詞 Speaking: 聞き直すときの表現
第6回 (5月22日)	Unit 6 Telework *対面授業 Listening: 語尾の/p/ /t/ /k/ /b/ /d/ /g/ の発音 Grammar: 動詞 + 目的語 + to do の形をとる動詞 Speaking: 相手に共感を求める表現
第7回 (5月29日)	e-learning教材学習テスト1回目 *対面授業 Unit 7 Smart Cities Listening: 単語の強勢 Grammar: 比較級 Speaking: 許可を求める表現
第8回 (6月5日)	Unit 8 Historical Sites *対面授業 Listening: 固有名詞の発音・アクセント Grammar: 受動態 Speaking: 驚きを表す表現
第9回 (6月12日)	Unit 9 Sports & the Brain *対面授業 Listening: 複数形の-sの発音 Grammar: 関係代名詞that Speaking: 話をまとめる際の表現
第10回 (6月19日)	Unit 10 Poetic Justice *対面授業 Listening: 冠詞の発音 Grammar: 前置詞 + 関係代名詞 Speaking: 言葉に詰まった時の表現

第11回 (6月26日)	Unit 11 The Magic of Hot Springs * 対面授業 Listening: /ae/ と / / の発音 Grammar: 接触節 (名詞 + 主語 + 動詞...) Speaking: 順番を表す表現
第12回 (7月3日)	Unit 12 Living with Less * 対面授業 Listening: 接続詞の弱形 Grammar: 同格を表す that Speaking: 提案を表す表現
第13回 (7月10日)	e-learning教材学習テスト2回目 * 対面授業 Unit 13 Street Food Listening: /t/ の発音 Grammar: or と名詞の並列による同格 Speaking: 言い換えを表す表現
第14回 (7月24日)	Unit 14 Going Cashless * 対面授業 Listening: 脱落 Grammar: 助動詞 + 完了形 (have + 動詞の過去分詞形) Speaking: 賛成・反対の表現
第15回 (7月31日)	Unit 15 English as a Global Language * 対面授業 Listening: 脱落 Grammar: 過去分詞の形容詞的用法 Speaking: 意見を尋ねる際の表現

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005005	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点を獲得することも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな教材に触れ、読む・聞くことから視点を理解し、書く・話すことにより自分の考えを表明できるようになる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ユニットテスト(40%) 期末テスト(20%) Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%) 平常点(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ Power Words Hybridを用いた単語の習熟(自主勉強) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考(クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	可能ならパソコンかタブレットを持参してください。特に、ユニットテスト、期末テストでは必須となります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式を予定しています。しかし、状況により変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネスで使える英語についても解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation, Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued, Review quiz; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading one In the Presence of Animals
第3回	Review quiz from the past week; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1 Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading One: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading Two: Who moved my cheese?
第6回	Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading one: An Unbreakable Code
第7回	e-learning 教材学習テスト(1回目); Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading two: Languages Die Out, Taking History Along
第8回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage
第9回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading Two: Elephant Behavior
第10回	Review quiz from the previous; Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading One: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第11回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Social Psychology: Reading Two: Fourteen Years
第12回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading Two: Christo and Jeanne-Claude
第13回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage; Review quiz from the previous; Chapter 7: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading One: What is Public Art?
第14回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 21st Century; Reading One: Swap Tree- Simple, Easy Online Trading
第15回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 22st Century; Reading Two: Heldemarie Schwermer
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005006	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2D1・2D2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、日本人には奇異に映る日用品やスポーツ応援グッズなどのアイテムに関する記事に触れ、これを通して世界各国の文化・風習・歴史・気候・宗教・食文化・交通事情などについて理解を深めていきます。また、記事に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (15回 × 1点 = 15点) + 定期試験 (45点) + e-learning教材学習テスト (20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード/Keywords	Tradition, Culture,		
教科書・教材・参考書/Materials	Guess What ?! - Intercultural Surprises - (南雲堂) 1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/10)	(対面) Introduction
第2回 (4/17)	(対面) Unit 1 Canada: Natural Beauty Abounds
第3回 (4/24)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Thailand: Where Culture and Fragrance Harmonize
第4回 (5/8)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Germany: Leaders in Protecting Our Environment
第5回 (5/15)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Turkey: Finish Up Your Coffee
第6回 (5/22)	(対面) Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Russia: Home to the Coldest Place Inhabited by Humans
第7回 (5/29)	(対面) e-learning 教材学習テスト 1回目 Unit 6 Israel: A Land of Tradition and Technology
第8回 (6/5)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 South Africa: The Country with 11 Different Names
第9回 (6/12)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 The United States: A Nation on the Road
第10回 (6/19)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 France: A Place of Little Waste
第11回 (6/26)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Bangladesh: Where Chaos and Peace Coexist
第12回 (7/3)	(対面) Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 New Zealand: Where Native Culture Thrives
第13回 (7/10)	(対面) e-learning 教材学習テスト 2回目 Unit 12 South Korea: The Crossroads of Food, Culture, and Tradition
第14回 (7/24)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Niger: Friendly Faces in a Dry Land
第15回 (7/31)	(対面) Unit 14 Brazil: A Paradise for Soccer and Dance Lovers 総復習



学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005007	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashimatakumi2020 yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	辞書無しでも英文が読めるようになる。 英文の要点が解るようになる。 英文の内容を推測できるようになる。 色々な地域で使われる英語の聞き取りができるようになる。 リスニング教材の要点が解るようになる。 リスニング教材の内容を推測できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 60% 学期中に2回行う小テスト20% Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10% + 2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	e-learning 自主学習 (合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード / Keywords	TOEIC 470		
教科書・教材・参考書 / Materials	The TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	定期試験の受験資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction プリントを使用した学習は毎回行う。
第2回	Unit 1 予定 動詞・五文型
第3回	Unit 2 数量を尋ねる 名詞
第4回	Unit 3 命令・依頼 形容詞・副詞
第5回	Unit 4 広告・宣伝
第6回	Unit 5 時間を尋ねる 動名詞
第7回	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第8回	Unit 6 場所を尋ねる to 不定詞
第9回	Unit 7 確認 分詞
第10回	Unit 8 留守番
第11回	Unit 9 アドバイス 受動態
第12回	Unit 10 誘い 比較
第13回	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第14回	Unit 11 申し出 関係詞
第15回	Unit 12 講演者紹介 まとめ

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005008	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点を獲得することも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな教材に触れ、読む・聞くことから視点を理解し、書く・話すことにより自分の考えを表明できるようになる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	ユニットテスト(40%) 期末テスト(20%) Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%) 平常点(20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ Power Words Hybridを用いた単語の習熟(自主学習) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるように整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考(クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	可能ならパソコンかタブレットを持参してください。特に、ユニットテスト・期末テストの際は必須となります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式を予定しています。しかし、状況により変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネスで使える英語についても解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation, Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued, Review quiz; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading one In the Presence of Animals
第3回	Review quiz from the past week; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1 Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading One: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading Two: Who moved my cheese?
第6回	Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading one: An Unbreakable Code
第7回	e-learning 教材学習テスト(1回目); Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading two: Languages Die Out, Taking History Along
第8回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage
第9回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading Two: Elephant Behavior
第10回	Review quiz from the previous; Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading One: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第11回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Social Psychology: Reading Two: Fourteen Years
第12回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading Two: Christo and Jeanne-Claude
第13回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage; Review quiz from the previous; Chapter 7: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading One: What is Public Art?
第14回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 21st Century; Reading One: Swap Tree- Simple, Easy Online Trading
第15回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 22st Century; Reading Two: Heldemarie Schwermer
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005009	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日授業前、及び12時~12時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングを有機的に関連づけ、各ユニットのトピックを学習する中で、インプットからアウトプットの流れの中で英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 英語の母音、機能語と内容語におけるストレスの位置、同一単語の弱形、イントネーション、リンキング等の英語の発音に慣れ、それをアウトプット (スピーキング) で実践できるようになる。</p> <p>(2) 各ユニットにトピックについてインプット (リスニング&amp;リーディング) した後、使用頻度の高い表現を使ってアウトプット (スピーキング、ライティング) できるようになる。</p> <p>(3) 現代社会が抱える様々な問題について主体的に考え、解決方法を見つけることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>(1) Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10% + 2回目 10%)</p> <p>(2) ユニット予習・復習クイズ 40%</p> <p>(3) 定期試験 40%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	<p>(1) Power Words Hybrid 自学自習 (合計30時間)</p> <p>(2) 教科書各ユニットの事前学習 (0.5時間/回) LACSにて予習確認テストを課す</p> <p>(3) 教科書各ユニットの字語学習 (0.5時間/回) LACSにて復習確認テストを課す</p>		
キーワード / Keywords	アウトプット		
教科書・教材・参考書 / Materials	Robert Hickling & Shun Morimoto (2023) English Echo: Advancing Listening Proficiency with Inspiring Topics, Cengage Learning		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は原則対面でおこないます。状況の変化によって一部オンライン授業に変更する可能性があります。その際はLACSにてお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	教科書各ユニットクイズの成績評価内訳を多めにしているので、予習・復習をしっかりとこなってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4月10日)	Unit 1 Digital Detox *対面授業 Listening: dark Lの発音 Grammar: 動名詞 Speaking: 頻度を表す表現を使った会話
第2回 (4月17日)	Unit 2 The Sharing Economy *対面授業 Listening: /s/ と /sh/の違い Grammar: 現在分詞の形容詞的用法 Speaking: 会話の前置きの表現
第3回 (4月24日)	Unit 3 Clothes & Fashion *対面授業 Listening: 二重母音 Grammar: 可算名詞と不可算名詞 Speaking: 話題の変換
第4回 (5月8日)	Unit 4 What Is Animal Intelligence? *対面授業 Listening: 前置詞toの弱形 Grammar: to不定詞の形容詞的用法 Speaking: 例を挙げる際の表現
第5回 (5月15日)	Unit 5 The Power of Grit *対面授業 Listening: リエゾン (連結) Grammar: 目的を表すto不定詞 Speaking: 聞き直すときの表現
第6回 (5月22日)	Unit 6 Telework *対面授業 Listening: 語尾の/p/ /t/ /k/ /b/ /d/ /g/ の発音 Grammar: 動詞+目的語+to do の形をとる動詞 Speaking: 相手に共感を求める表現
第7回 (5月29日)	e-learning教材学習テスト1回目 *対面授業 Unit 7 Smart Cities Listening: 単語の強勢 Grammar: 比較級 Speaking: 許可を求める表現
第8回 (6月5日)	Unit 8 Historical Sites *対面授業 Listening: 固有名詞の発音・アクセント Grammar: 受動態 Speaking: 驚きを表す表現
第9回 (6月12日)	Unit 9 Sports & the Brain *対面授業 Listening: 複数形の-sの発音 Grammar: 関係代名詞that Speaking: 話をまとめる際の表現
第10回 (6月19日)	Unit 10 Poetic Justice *対面授業 Listening: 冠詞の発音 Grammar: 前置詞+関係代名詞 Speaking: 言葉に詰まった時の表現

第11回 (6月26日)	Unit 11 The Magic of Hot Springs * 対面授業 Listening: /ae/ と / / の発音 Grammar: 接触節 (名詞 + 主語 + 動詞...) Speaking: 順番を表す表現
第12回 (7月3日)	Unit 12 Living with Less * 対面授業 Listening: 接続詞の弱形 Grammar: 同格を表す that Speaking: 提案を表す表現
第13回 (7月10日)	e-learning教材学習テスト2回目 * 対面授業 Unit 13 Street Food Listening: /t/ の発音 Grammar: or と名詞の並列による同格 Speaking: 言い換えを表す表現
第14回 (7月24日)	Unit 14 Going Cashless * 対面授業 Listening: 脱落 Grammar: 助動詞 + 完了形 (have + 動詞の過去分詞形) Speaking: 賛成・反対の表現
第15回 (7月31日)	Unit 15 English as a Global Language * 対面授業 Listening: 脱落 Grammar: 過去分詞の形容詞的用法 Speaking: 意見を尋ねる際の表現

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005010	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西川 美香子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西川 美香子		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西川 美香子		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nishikawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	内線 ( 2 9 5 2 )		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前予約のこと (水曜日の3限又は4限)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル社会における様々な会問題について幅広いトピックを取り上げ、問題解決に向け英語で発信する練習を行う。 英語で自分の意見を的確に伝えるため、様々な表現を学びつつ、主体的に「英語で考え英語で発信する」能力を高める。		
授業到達目標/Course goals	自分の意見をその根拠を添えて英語で伝えることができる。 英語で話し合ったり、意見の交換ができる。 相異なる意見を自分の言葉でまとめることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation 20% Power Words Hybrid (単語テスト) 2回. (10%+10%) = 20% Writing Homeworks (30%) Speaking Homeworks (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定された教科書の範囲に取り組む (1時間/回) 復習: LACSで配布する復習発展課題に取り組む (1時間/回) この授業では予習・復習を前提として授業を進める。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。"		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Solutions : A Topic-based Communication and Discussion Textbook, Shawn Clankie et. al, Cengage Learning. ISBN-13. 978-4863121034		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月10日	オリエンテーション Lesson 1. Should the Univ. Acaemic Year Begin in September?
第2回 4月17日	Lesson 2. Cyber Money
第3回 4月24日	Lesson 3. Bicycle Licensing?
第4回 5月8日	Wrapping Up Lesson 1-3 (In-class writing exercise 1)
第5回 5月15日	Lesson 5. Drunk Driving
第6回 5月22日	Lesson 6. Voting Rights for Foreigners?
第7回 5月29日	PW 単語テスト(1回目) Wrapping Up Lesson 5-6 (In-class writing exercise 2)
第8回 6月5日	Lesson 10. Equal Pay for Equal Work
第9回 6月12日	Lesson 11. Unpaid Overtime: The White-Collar Exemption
第10回 6月19日	Lesson 16. Should There Be a Charge for Disposing of Grabage?
第11回 6月26日	Lesson 17. Road Constructions
第12回 7月3日	Lesson 18. Alternative Energy
第13回 7月10日	PW 単語テスト(2回目) Wrapping Up; Lesson 10, 11, 16-18 (In-class writing exercise 3)
第14回 7月24日	Peer Reviews (Writings)
第15回 7月31日	In-class Discussions
第16回 8月7日	Feedback Day (振り返り)

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005011	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Course goals	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、Power Words Hybrid テスト 20%・課題40%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題40%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1) Power Words Hybrid 自学学習: 合計30時間 2) 課題: 毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。ただし、授業実施環境・状況によってはリアルタイムオンラインになることもある。
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理 1
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト(1回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
第8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1
第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解 2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト(2回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	授業全体のまとめ、フィードバック
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005012	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 (12:00 ~)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国際化の進展に伴い、日本の医療現場においても英語コミュニケーション能力の必要性が高まっています。本授業では、実際の医療現場で想定される対話の練習、医療に関する簡単な文章の読解を通じて、現場で役立つ実践的な英語力の向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	語形成の特徴を理解しながら医学専門用語を習得することができる。 医療現場を想定した対話を聞いて理解することができるようになる。 医療に関する簡単な文章を読んで理解し、自分の意見を述べるようになる。 医療現場で用いられる表現を使って、場面に応じた適切なコミュニケーションをとることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・ e-learning教材学習テスト (20%) (テスト 10%、テスト 10%) ・ 小テスト (20%) ・ 語彙アクティビティーポイント (10%) ・ Review Test (1) (20%) Review Test (2) (20%) ・ 授業への姿勢 (遅刻・発言・提出物などを含む) (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ e-learning自学自習 (合計30h) ・ 毎回小テストをしますので、学習してください (2h) ・ 教科書の次回トピックについて事前学習を行う (2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書・テキスト First Aid!: English for Nursing Akihiko Higuchi他著 (金星堂)、1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではペア・グループ活動が多々あります。日頃から自分の意見を英語で言えるようになるよう、語彙・表現力を身に付けるよう努めてください。英語でのコミュニケーションを楽しめるようになりましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	guidance 授業の進め方、成績評価の説明等 コミュニケーション活動
第2回	Unit 1 First Visit to a Hospital 来院
第3回	Unit 2 How to Fill in a Registration Form 初診受付
第4回	Unit 3 Let's Ask Daily Activities 生活習慣を聞く
第5回	Unit 4 Symptoms 問診する(1)
第6回	Unit 5 Medical Check up 1 脈拍、血圧、体重の測定
第7回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第8回	Unit 6 Medical Check up 2 採血、採尿
第9回	Reviewテスト もしくはSkit Presentation
第10回	Unit 7 Diagnosis 診断結果(1)
第11回	Unit 8 Symptoms 問診する(2)
第12回	Unit 9 Let's Ask More about Symptoms 症状をより詳しく聞く
第13回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第14回	Unit 10 Explaining Blood Test Results 診断結果(2)
第15回	総まとめ Review Test

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005013	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。また、四技能のうち、スピーキングとライティングという発信型スキルを用いて、短い時間で各自の考えをまとめ、ショートプレゼンを行ったり短いエッセイや要約を書けるよう訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybride単語テスト(20%)(1回目10%+2回目10%), 予習チェッククイズ等(40%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題 (2時間/回)、事後学習として課題の見直し (1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材を配布し、LACSの「授業資料」にアップする。 e-learning学習教材は、Power Words Hybridのみ。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式 (Zoomを使用) で行う場合は、事前にメールで配信する。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (1)授業概要の説明 (2)e-learning教材の説明 (3)sample listening test,
第2回	Listening 1, プリント教材"Introduction to Academic Writing"
第3回	Listening 2, プリント教材"The Disappearance of Left-handers"
第4回	Listening 3, プリント教材"Access to Water"
第5回	Listening 4, プリント教材"The Nature of Terrorism"
第6回	Listening 5, プリント教材"Harry Potter"
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度)、プリント教材"Marriage"
第8回	DVD教材(1) *DVD教材を視聴し、登場人物の台詞を書き取ってみましょう。
第9回	DVD教材(2) *DVD教材を視聴し、登場人物の台詞を書き取り、自分が使える表現かどうか検証してみましょう。
第10回	Grammar and Written Expression 1, プリント教材"Information Age (1)"
第11回	Grammar and Expression 2, プリント教材"Slow Food Movement"
第12回	Grammar and Written Expression 3, プリント教材"Information Age (2)"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度)、プリント教材"Volunteering Activities"
第14回	Grammar and Written Expression 4, プリント教材"The Power of Laughter"
第15回	Grammar and Written Expression 5, プリント教材"Cloud Computing"
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005014	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	第一言語あるいは第二言語として話されるどのような種類の英語であっても聞き取れるようになる。 英語で伝えられるテレビ放送をスクリプトや字幕無しで視聴理解することができるようになる。 英語で視聴したテレビ放送の内容についての自分の意見を、英語で主張できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文 20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 40% 平常点20%(予復習結果、英作文課題、音読課題提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト20%(1回目 10% + 2回目 10%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learning 自学自習（合計30 時間）</li> <li>・授業ルーティーン 予習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：教科書の範囲の予習を行った採点結果をLACS経由で成果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること、（1 時間/回）</li> <li>・授業ルーティーン 予習：教科書の次の範囲の予習を行いLACS経由で解答結果を報告すること、理解確認のための単元の最終課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で採点結果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること ぶりかえり：ルーティーン で指示した音読箇所の訓練結果を録音し、LACS経由で成果を報告すること、単元の学修を振り返るスタディレポートを作成してLACS経由で成果を報告すること（1 時間/回）</li> </ul>
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	主教材：NHK NEWSLINE 6（金星堂） 副教材：Campus Listening(成美堂)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	<p>この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタブログラム音読、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。</p> <p>別途指示がない限り対面で実施。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/11 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/18 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1 ルーティーン
第3回	4/25 副教材 Unit 3、主教材 教科書 Unit 1 ルーティーン
第4回	5/9 副教材 Unit 4、主教材 教科書 Unit 3 ルーティーン
第5回	5/16 副教材 Unit 5、主教材 教科書 Unit 3 ルーティーン
第6回	5/23 副教材 Unit 6、主教材 教科書 Unit 5 ルーティーン
第7回	5/30 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 Unit 5 ルーティーン
第8回	6/6 副教材 Unit 8、主教材 教科書 Unit 7 ルーティーン
第9回	6/13 副教材 Unit 9、主教材 教科書 Unit 7 ルーティーン
第10回	6/20 副教材 Unit 11、主教材 教科書 Unit 9 ルーティーン
第11回	6/27 副教材 Unit 12、主教材 教科書 Unit 9 ルーティーン
第12回	7/4 副教材 Unit 13、主教材 教科書 Unit 11 ルーティーン
第13回	7/11 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 14、主教材 教科書 Unit 11 ルーティーン
第14回	7/18 副教材 Unit 21、主教材 教科書 Unit 15 ルーティーン
第15回	7/25 副教材 Unit 24、主教材 教科書 Unit 15 ルーティーン
第16回	8/1 提出物最終締め切り、授業の振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005015	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etudians_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。</p> <p>(2) 話すことと聴くことの技能を身に付ける。</p> <p>(3) 暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。</p> <p>(4) 語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。</p> <p>(5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。</p> <p>(6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。</p> <p>(7) 英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に組み立てることができるようになる。</p> <p>(2) 英語の単語や表現を声に出して練習し、正確で美しい発音ができるようになる。</p> <p>(3) 声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用して、さらには自らの意見を英語で表現できるようになる。</p> <p>(4) CDを活用し、何度も聴いてリピーティングをすることでリスニングの指導を行い、英語を正しく聴き取れるようになる。スキルの定着を図り、英語の能力を向上させることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 (50%) + Power Words Hybrid 単語テスト (20% = 10% + 10%) + 小テスト (15%) + 積極的な授業への取り組み (15%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>授業時間（ 15時間 ）、事前学修時間（ 15時間 ）、事後学修時間（ 15時間 ）の、合計45時間の学修を必要とします。</p> <p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（ 2時間 / 回 ）</li> <li>・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次 の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（ 2時間 / 回 ）</li> </ul> <p>Power Words Hybrid 単語テストの自学学習を計画的に行うこと。（ 合計30時間 ）</p>
キーワード/Keywords	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解
教科書・教材・参考書/Materials	『Enjoying English through Pop Songs ソングス & カルチャー』（ 関戸冬彦 / 小林愛明 他 : 朝日出版社 ） 音声教材は無料配信されています。 <a href="http://text.asahipress.com/free/english/">http://text.asahipress.com/free/english/</a> 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして音声教材を聴いてから臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。音声教材を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明（対面）
第2回 4月18日	UNIT 1 Stand by Me
第3回 4月25日	UNIT 2 Jailhouse Rock
第4回 5月9日	UNIT 3 Blowin' in the Wind
第5回 5月16日	UNIT 4 Puff, the Magic Dragon
第6回 5月23日	UNIT 5 I've Gotta Get a Message to You
第7回 5月30日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 6 Bridge Over Troubled Water
第8回 6月6日	UNIT 7 Take Me Home, Country Roads
第9回 6月13日	UNIT 8 Imagine
第10回 6月20日	UNIT 9 I Need to Be in Love
第11回 6月27日	UNIT 10 Honesty
第12回 7月4日	UNIT 11 Hotel California
第13回 7月11日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 12 I Just Called to Say I Love You
第14回 7月18日	UNIT 13 '80s
第15回 7月25日	UNIT 14 '80s
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005016	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2K3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	環境科学部(2K3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標/Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト (Power Words Hybrid 単語テスト) 20%、課題および小テスト20%、Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。 (2) Presentationの準備を入念に行うこと。 (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	Active participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面 Course Outline (導入)
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 3 Making Ends Meet
第 5 回	対面 Presentation No. 1 Lesson 12 An Eager Beaver
第 6 回	対面 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト1回目 Lesson 15 A Pep Talk
第 8 回	対面 Presentation No.2 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 9 回	対面 Lesson 20 In the Swing of Things
第 1 0 回	対面 Lesson 25 Coming Through with Flying Colors
第 1 1 回	対面 Presentation No. 3 Lesson 50 A Wet Blanket
第 1 2 回	対面 Lesson 51 A Knockout
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 4 回	対面 Presentation No.4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	対面 Final Exam

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005017	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。</p> <p>(2) 話すことと聴くことの技能を身に付ける。</p> <p>(3) 暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。</p> <p>(4) 語彙を増やし、文法を理解し、表現の感覚を磨く。</p> <p>(5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。</p> <p>(6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。</p> <p>(7) 英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 英語のフレーズの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、英文を容易に組み立てることができるようになる。</p> <p>(2) 英語の単語や表現を声に出して練習し、正確で美しい発音ができるようになる。</p> <p>(3) 声に出すことで覚えた英語のフレーズを使用して、さらには自らの意見を英語で表現できるようになる。</p> <p>(4) CDを活用し、何度も聴いてリピートングをすることでリスニングの指導を行い、英語を正しく聴き取れるようになる。スキルの定着を図り、英語の能力を向上させることができるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験 (50%) + Power Words Hybrid 単語テスト (20% = 10% + 10%) + 小テスト (15%) + 積極的な授業への取り組み (15%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<p>授業時間（15時間）、事前学修時間（15時間）、事後学修時間（15時間）の、合計45時間の学修を必要とします。</p> <p>毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（2時間/回）</li> <li>・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（2時間/回）</li> </ul> <p>Power Words Hybrid 単語テストの自学学習を計画的に行うこと。（合計30時間）</p>
キーワード/Keywords	英米の歌 / 文法と発音の強化 / 英語表現の容易な定着 / コミュニケーションのための文化の理解
教科書・教材・参考書/Materials	『Enjoying English through Pop Songs ソングス & カルチャー』（関戸冬彦 / 小林愛明 他：朝日出版社） 音声教材は無料配信されています。 <a href="http://text.asahipress.com/free/english/">http://text.asahipress.com/free/english/</a> 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして音声教材を聴いてから臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。音声教材を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月11日	導入・授業内容の説明（対面）
第2回 4月18日	UNIT 1 Stand by Me
第3回 4月25日	UNIT 2 Jailhouse Rock
第4回 5月9日	UNIT 3 Blowin' in the Wind
第5回 5月16日	UNIT 4 Puff, the Magic Dragon
第6回 5月23日	UNIT 5 I've Gotta Get a Message to You
第7回 5月30日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 6 Bridge Over Troubled Water
第8回 6月6日	UNIT 7 Take Me Home, Country Roads
第9回 6月13日	UNIT 8 Imagine
第10回 6月20日	UNIT 9 I Need to Be in Love
第11回 6月27日	UNIT 10 Honesty
第12回 7月4日	UNIT 11 Hotel California
第13回 7月11日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト UNIT 12 I Just Called to Say I Love You
第14回 7月18日	UNIT 13 '80s
第15回 7月25日	UNIT 14 '80s
第16回 8月1日	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005018	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。また、四技能のうち、スピーキングとライティングという発信型スキルを用いて、短い時間で各自の考えをまとめ、ショートプレゼンを行ったり短いエッセイや要約を書けるよう訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybride単語テスト(20%)(1回目10%+2回目10%), 予習チェック等(40%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題 (2時間/回)、事後学習として課題の見直し (1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材は、LACSの「授業資料」にアップする。 e-learning学習教材は、Power Words Hybridのみ。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式 (Zoomを使用) で行う場合は、事前にメールで配信する。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (1)授業概要の説明 (2)e-learning教材の説明 (3)sample listening test
第2回	Listening 2, プリント教材"Introduction to Academic Writing"
第3回	Listening 3, プリント教材The Disappearance of Left-handers"
第4回	Listening 4, プリント教材(3) "Access to Water"
第5回	Listening 5, プリント教材(4) "The Nature of Terrorism"
第6回	プリント教材(5) "Harry Potter"
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度) DVD教材視聴(1) * 登場人物の台詞を書き取ってみよう。
第8回	DVD教材視聴(2) * 登場人物の台詞を書き取り、これまで知識として身に付けた英語表現・文法等と比較してみよう。
第9回	Grammar and Written Expression 1, プリント教材(6) "Marriage"
第10回	Grammar and Written Expression 2, プリント教材(6) "Information Age (1)"
第11回	Grammar and Written Expression 3, プリント教材(7) "Slow Food Movement"
第12回	Grammar and Written Expression 4, プリント教材(8) "Information Age (2)"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度)、プリント教材(9) "Volunteering Activities"
第14回	Grammar and Written Expression 5, プリント教材(10) "The Power of Laughter"
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005019	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2M6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	第一言語あるいは第二言語として話されるどのような種類の英語であっても聞き取れるようになる。 英語で伝えられるテレビ放送をスクリプトや字幕無しで視聴理解することができるようになる。 英語で視聴したテレビ放送の内容についての自分の意見を、英語で主張できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文 20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 40% 平常点20%(予復習結果、英作文課題、音読課題提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト 20%(1回目 10% +2回目 10%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・e-learning 自学自習（合計30 時間）</li> <li>・授業ルーティーン 予習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：教科書の範囲の予習を行った採点結果をLACS経由で成果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること、（1 時間/回）</li> <li>・授業ルーティーン 予習：教科書の次の範囲の予習を行いLACS経由で解答結果を報告すること、理解確認のための単元の最終課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で採点結果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること ふりかえり：ルーティーン で指示した音読箇所の訓練結果を録音し、LACS経由で成果を報告すること、単元の学修を振り返るスタディレポートを作成してLACS経由で成果を報告すること（1 時間/回）</li> </ul>
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	主教材：NHK NEWSLINE 6（金星堂） 副教材：Campus Listening(成美堂)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考/Remarks	<p>この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるプログラム音読、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。</p> <p>別途指示がない限り対面で実施。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/11 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/18 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 2 ルーティーン
第3回	4/25 副教材 Unit 3、主教材 教科書 Unit 2 ルーティーン
第4回	5/9 副教材 Unit 4、主教材 教科書 Unit 4 ルーティーン
第5回	5/16 副教材 Unit 5、主教材 教科書 Unit 4 ルーティーン
第6回	5/23 副教材 Unit 6、主教材 教科書 Unit 6 ルーティーン
第7回	5/30 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 Unit 6 ルーティーン
第8回	6/6 副教材 Unit 8、主教材 教科書 Unit 8 ルーティーン
第9回	6/13 副教材 Unit 9、主教材 教科書 Unit 8 ルーティーン
第10回	6/20 副教材 Unit 11、主教材 教科書 Unit 10 ルーティーン
第11回	6/27 副教材 Unit 12、主教材 教科書 Unit 10 ルーティーン
第12回	7/4 副教材 Unit 13、主教材 教科書 Unit 12 ルーティーン
第13回	7/11 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 14、主教材 教科書 Unit 12 ルーティーン
第14回	7/18 副教材 Unit 21、主教材 教科書 Unit 14 ルーティーン
第15回	7/25 副教材 Unit 24、主教材 教科書 Unit 14 ルーティーン
第16回	8/1 提出物最終締め切り、授業の振り返り

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005020	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Course goals	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、Power Words Hybrid 単語テスト20%・課題40%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題40%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1) Power Words Hybrid 単語学習: 合計30時間 2) 課題: 毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。ただし、授業実施環境・状況によってはリアルタイムオンラインになることもある。
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト(1回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
第8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解1
第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペアーの整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト(2回目) アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	授業全体のまとめ、フィードバック
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005021	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T8) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:30 ~ (火曜日)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の進展に伴い様々なビジネス場面において、英語での円滑なコミュニケーション能力が必要とされています。本授業では日常生活やビジネスの場面で想定される会話文・ナレーションや文章を理解し、場面に応じてアウトプットを行うことで、実践的な英語力の向上を目指します。また、TOEICのテストスキルを養い、スコアアップにつなげていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活やビジネスの場面で求められる語彙・表現を習得することができる。</li> <li>・日常生活やビジネスの場面を想定した対話文やナレーションを理解することができるようになる。</li> <li>・日常生活やビジネス現場などの場面に応じた表現を用いて対話を行うことができるようになる。</li> <li>・多様な形式の文章を読んで理解することができるようになる。</li> <li>・状況に応じた簡単な文章を書くことができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning教材学習テスト (20%) (テスト 10%、テスト 10%)</li> <li>・ 小テスト (20%)</li> <li>・ Review Test (1) 範囲: Unit 1 ~ 7 (25%)</li> <li>・ Mock Test (25%)</li> <li>・ 授業への姿勢 (遅刻・発言・提出物などを含む) (10%)</li> </ul>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) 復習: 指定された教科書のチャレンジ問題に取り組むこと (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書・テキスト The High Road to the TOEIC Listening and Reading</li> <li>・ Koji Hayakawa 他著 (金星堂)、1,900円 + 税</li> </ul>		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	自分の英語力の現状と目標を把握し、着実に力がつくよう授業に取り組んでください。授業ではペアワーク・グループワークも行います。クラスメートと協力しながら、英語コミュニケーション能力を高めていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ガイダンス Communication Activity
第2回	Unit 1 Travel PART 1: 人物の動作：1人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 会話の冒頭部分は特に集中する / PART 4: 言い換えに注意する PART 5: 時制 / PART 6: 時制 / PART 7: 「目的」は冒頭からつかむ
第3回	Unit 2 Dining Out PART 1: 人物の位置・場所：1人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: レストランで使われる表現を覚える / PART 4: 話し手と聞き手を常に意識する PART 5: 主述の一致 / PART 6: 時制 / PART 7: 文書の目的を問う問題
第4回	Unit 3 Media PART 1: 光景：受動態が使われるパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 話題を意識する / PART 4: ニュースは冒頭をしっかりと聞く PART 5: 能動態・受動態 / PART 6: 接続表現 / PART 7: NOT 問題
第5回	Unit 4 Entertainment PART 1: 人物の動作：2人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 場所をイメージする / PART 4: 図表問題は情報を関連づける PART 5: 動名詞・不定詞 / PART 6: 接続表現 / PART 7: 文を挿入する問題
第6回	Unit 5 Purchasing PART 1: 人物の位置・場所：2人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 店内での会話のパターンを覚える / PART 4: ポイントをしばって待つ PART 5: 代名詞 / PART 6: 代名詞 / PART 7: 答えを推測する問題
第7回	e-learning教材学習テスト Communication Activity
第8回	Unit 6 Clients PART 1: 光景：現在進行形が使われるパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 顧客との取引の流れをおさえる / PART 4: 未来に起こることに注意する PART 5: 品詞 / PART 6: 代名詞 / PART 7: 意図問題
第9回	Unit 7 Recruiting PART 1: 人物の動作：3人以上のパターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 語彙から就職の段階を推測する / PART 4: 問われるポイントを事前に確認する PART 5: 品詞 / PART 6: 語彙 / PART 7: 同義語問題
第10回	Review Test Unit1~7 Communication Activity
第11回	Unit 8 Personnel PART 1: 人物の位置・場所：3人以上のパターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 必要な情報を意識する / PART 4: 人事に関するイベントを頭に入れる PART 5: 品詞 / PART 6: 語彙 / PART 7: 詳細情報を見つける

第12回	Unit 9 Advertising PART 1: 光景：位置関係の表現パターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 広告に関する会話の流れをおさえる / PART 4: 注目を集める表現に注意する PART 5: 比較 / PART 6: 文選択 / PART 7: 文書の目的を問う問題
第13回	e-learning教材学習テスト
第14回	Unit 10 Meetings PART 1: 人物の動作：身に着けている表現パターン / PART 2: 付加疑問文 PART 3: 予定変更のキーワードをとらえる / PART 4: 会議の目的をとらえる PART 5: 前置詞 / PART 6: 文選択 / PART 7: 意図問題
第15回	総まとめ & Mock Test

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005022	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2T9) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	工学部(2T9)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト (Power Words Hybrid 単語テスト) 20%、課題および小テスト20%、Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。 (2) Presentationの準備を入念に行うこと。 (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	Active participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面 Course Outline (導入)
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a Ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 3 Making Ends Meet
第 5 回	対面 Presentation No.1 Lesson 12 An Eager Beaver
第 6 回	対面 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 15 A Pep Talk
第 8 回	対面 Presentation No. 2 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 9 回	対面 Lesson 20 In the Swing of Things
第 1 0 回	対面 Lesson 25 Coming Through with Flying Colors
第 1 1 回	対面 Presentation No. 3 Lesson 50 A Wet Blanket
第 1 2 回	対面 Lesson 51 A Knockout
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 4 回	対面 Presentation No. 4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	Final Exam

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005023	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、食にまつわる慣習、競技会におけるトランスジェンダー議論など、あらゆるジャンルの記事を通して、これらの内容について理解を深めていきます。また、記事に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。</li> <li>2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。</li> <li>3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (15回 × 1点 = 15点) + 定期試験 (45点) + e-learning教材学習テスト (20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学修の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間 / 回)</li> <li>・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間 / 回)</li> </ul>		
キーワード / Keywords	Culture, Society, Education, Entertainment, Sport		
教科書・教材・参考書 / Materials	America's Evolution (株式会社 松柏社) 2,000円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回到授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/13)	(対面) Introduction
第2回 (4/20)	(対面) Unit 1 America's Biggest Family Holiday
第3回 (4/27)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 The Hawaiian Language and Identity Today
第4回 (5/11)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Who's an Adult in America?
第5回 (5/18)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 When Does a Joke Cross the Line?
第6回 (5/25)	(対面) Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Doggie Bags for Humans?
第7回 (6/1)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 The Almighty Dollar
第8回 (6/8)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 The Mt. St. Helens Eruption
第9回 (6/15)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 The Cost of College
第10回 (6/22)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 The Legacy of The Godfather
第11回 (6/29)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Transgender Athletes
第12回 (7/6)	(対面) Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 A Poem for a President
第13回 (7/13)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Who Were the Washington Redskins and the Cleveland Indians?
第14回 (7/20)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Weird Laws
第15回 (7/27)	(対面) Unit 14 Careers in Crisis 総復習



学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005024	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標/Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容確認小テスト20% プレゼンテーション 10% 定期試験 50% Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備(1時間/回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分/回)		
キーワード / Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書 / Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第12回	Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第14回	Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション

第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005025	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにてアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	<p>1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図ることができる。</p> <p>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングができる。</p> <p>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (20点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + レポート提出 (20点) + 期末試験 (20点) + e-learning教材学習テスト (20点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (合計2時間)</li> <li>・ 音読練習復習 (15分/回)</li> <li>・ レポートの為に動画視聴及びレポート作成 (合計5時間)</li> </ul>		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備します。日常の英会話で使われる表現・文法事項をアウトプットしながら定着させていきます。またレポート作成を通し授業外でも英語環境を積極的に作る習慣づけを行います。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできた語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第2回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) 各種英語テストに関する説明
第3回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第4回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第5回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第6回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第8回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity (Make groups for a presentation)
第9回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第10回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第11回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第12回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第14回	Presentation

第15回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005026	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会・文化・健康等身近なテーマに関する問題を知り、背景知識を深め、解決策を探る。ユニットごとのテーマに関連する語句を学んで語彙力を養う。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験35%、小テスト20%、ペアでの会話発表15%、授業への積極的な参加状況(遅刻・欠席・予習等)10%、e-learning教材学習テスト20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30 時間)</li> <li>・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間/回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。</li> <li>・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。</li> </ul>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Find a Solution!, Miwa Akao, Nan'undo, 2022		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	(対面) 授業の進め方とe-learningの説明
2回	(対面) Smartphone Addition
3回	(対面) Congestion at the Cafeteria
4回	(対面) Infectious Diseases
5回	(対面) Universal Design
6回	(対面) Colum 1
7回	(対面) e-learning学習教材テスト1回目、インターネット上の英語を読む
8回	(対面) Student Stress
9回	(対面) Black Baito
10回	(対面) Older Drivers
11回	(対面) Plastic Waste
12回	(対面) Colum 2
13回	(対面) e-learning学習教材テスト2回目、インターネット上の英語を聞く
14回	(対面) ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	(対面) リスニング・リーディングのポイント確認
16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005027	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 昼休み (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	外国人と接する際に遭遇するであろうさまざまな場面の英会話を通じて、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。案内、指示、提案、電話応答などのテーマに沿いながら、実践的かつシンプルな英語表現を使えるようにする参加型の授業です。		
授業到達目標/Course goals	テーマごとの語彙・表現をスピーキングとライティングで使えるようになる シンプルな英語で臆せず発話することを楽しめる 英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目10% + 2回目10%) 授業の取り組み : 15% 小テスト : 20% 発表 : 15% 期末テスト : 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Power Words Hybrid 自学自習 (1時間/回) 予習 : テキストの課題の予習および音読練習 (1時間/回) 復習 : テキストの課題の復習、音読と小テストに向けての学習 (1時間/回)		
キーワード/Keywords	英語4技能の習得 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Materials	Successful Office English, Tae Kudo, センゲージラーニング (株) 出版		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の授業で計画を説明しますが、状況によって変更になる場合があります。その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席回数が3分の2に達しない場合、考査の受験資格が与えられません。 ただし、欠席届(学生便覧参照)やその他やむを得ない理由については、当該欠席時数について考慮することがあります。  テキストの学習は授業毎に次週の範囲を指示します。予習・復習にしっかり取り組み、授業でアウトプットできるようにして下さい。毎回ペアワークをするのでテキストを必ず持参して下さい。皆さんの授業への積極的な参加を期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name/Details of practical experience/Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務・時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細/Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents	授業手法/
第1回	オリエンテーション	A C
第2回	Unit 1 会話演習	A C
第3回	Unit 2 会話演習	A C
第4回	Unit 3 会話演習	A C
第5回	Unit 4 会話演習	A C
第6回	Unit 5 会話演習	A C
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1回目	A C
第8回	Unit 6 会話演習	A C
第9回	Unit 7-9 リスニング演習	A C
第10回	Unit 10-12 リスニング演習	A C
第11回	Unit 13-15 リスニング演習	A C
第12回	会話演習：グループワーク	A B
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 会話演習：グループワーク	A B
第14回	プレゼンテーション	A B C
第15回	プレゼンテーション	A B C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005028	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標 / Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容確認小テスト20% プレゼンテーション 10% 定期試験 50% Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備 (1時間 / 回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分 / 回)		
キーワード / Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書 / Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1 回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第12回	Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第14回	Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション

第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005029	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2L4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業は、サイバー犯罪、風力発電、第三世代、気候変動など、あらゆるジャンルの記事を通して、これらの内容について理解を深め、記事に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。</li> <li>2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。</li> <li>3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回 × 2点 = 20点) + writing・speaking (15回 × 1点 = 15点) + 定期試験 (45点) + e-learning教材学習テスト (20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間 / 回)</li> <li>・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間 / 回)</li> </ul>		
キーワード / Keywords	Britain		
教科書・教材・参考書 / Materials	Britain Today 株式会社 松柏社 1,980円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/13)	(対面) Introduction
第2回 (4/20)	(対面) Chapter 1 Top Issues
第3回 (4/27)	(対面) Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Wales
第4回 (5/11)	(対面) Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 The Royal Family
第5回 (5/18)	(対面) Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 Clubbing Experiment
第6回 (5/25)	(対面) Chapter 4 内容理解確認小テスト Chapter 5 Cyber Crime
第7回 (6/1)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 6 Technology & Politics in Scotland
第8回 (6/8)	(対面) Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Sport
第9回 (6/15)	(対面) Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 The Third Age
第10回 (6/22)	(対面) Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 The New Nationalism
第11回 (6/29)	(対面) Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 Literature & the Arts
第12回 (7/6)	(対面) Chapter 10 内容理解確認小テスト Chapter 11 Environment
第13回 (7/13)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 12 The New Crime Bill
第14回 (7/20)	(対面) Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 Vaccination & Freedom Day
第15回 (7/27)	(対面) Chapter 14 Education: Disparity & Division 総復習



学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005030	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにてアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図ることができる。</li> <li>2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングができる。</li> <li>3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Speaking Practice (20点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + レポート提出 (20点) + 期末試験 (20点) + e-learning教材学習テスト (20点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30時間)</li> <li>・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (合計2時間)</li> <li>・ 音読練習復習 (15分/回)</li> <li>・ レポートの為に動画視聴及びレポート作成 (合計5時間)</li> </ul>		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備します。日常の英会話で使われる表現・文法事項をアウトプットしながら定着させていきます。またレポート作成を通し授業外でも英語環境を積極的に作る習慣づけを行います。		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできた語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第2回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) 各種英語テストに関する説明
第3回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第4回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第5回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第6回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第8回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity (Make groups for a presentation)
第9回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第10回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第11回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第12回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第14回	Presentation
第15回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005031	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会・文化・健康等身近なテーマに関する問題を知り、背景知識を深め、解決策を探る。ユニットごとのテーマに関連する語句を学んで語彙力を養う。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験35%、小テスト20%、ペアでの会話発表15%、授業への積極的な参加状況(遅刻・欠席・予習等)10%、e-learning教材学習テスト20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e-learning 自学自習 (合計30 時間)</li> <li>・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5時間/回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめなときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。</li> <li>・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。</li> </ul>		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Find a Solution!, Miwa Akao, Nan'undo, 2022		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	(対面) 2022授業の進め方とe-learningの説明
2回	(対面) Smartphone Addiction
3回	(対面) Congestion at the Cafeteria
4回	(対面) Infectious Diseases
5回	(対面) Universal Design
6回	(対面) Colum 1
7回	(対面) e-learning学習教材テスト1回目、インターネット上の英語を読む
8回	(対面) Student Stress
9回	(対面) Black Baito
10回	(対面) Older Drivers
11回	(対面) Plastic Waste
12回	(対面) Colum 2
13回	(対面) e-learning学習教材テスト2回目、インターネット上の英語を聞く
14回	(対面) ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	(対面) リスニング・リーディングのポイント確認
16回	(対面) 定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005032	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E 6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_dai@campus.nias.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次に学ぶ英語コミュニケーションのセンテンスパターンを応用できるようになる。</li> <li>・将来的に自らが遭遇する日常レベル、またアカデミックレベルの英会話に必要なスキルを自己判断できるようになる。</li> <li>・PDCA (Plan/Do/Check/Act) のサイクルを繰り返し行い、問題発見と解決ができるようになる。</li> <li>・効果的な傾聴力と主張力を身につけることができる。</li> <li>・プレゼンテーションができるようになる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Positive Class Participation 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) e-learning教材学習テスト 20% (PowerWords Hybrid、1回目10%、2回目10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 25% Final Examination 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 学期期間中は、事前学習と事後学習を毎週最低でも学内で2時間、自宅で2時間行うこと。 事前学習においては、講義を効率よく受けられるために理解している部分と、そうでない部分を「仕分け」すること。また、覚えていない（知らない）単語や句は調べておくこと。自分で選択したテーマにそった調べ学習を行い、そのテーマについての語彙を広げ、知識を増やしておくこと。 事後学習においては、講義で新しく学んだキーワードや語句をピックアップし、習得したといえるレベルになるまで学習を行うこと。毎回講義で学んだ項目と照らし合わせて、選択したテーマの知識をベースに、自分の意見を英語でアウトプットできるようにしておくこと。
キーワード/Keywords	・脱受験英語 イメージからの英語表現へ ・効果的なプレゼン
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Make a Skit Presentation（英宝社） 各自持っている参考書、辞書（英和、和英） この授業では、辞書はかなり重要です。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。（スマートフォンの操作等） 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本対面形式で進めていきます。最初の回に授業計画を詳しく説明しますが、状況によっては対面式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型、またはオンライン形式（オンデマンド）に変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。 社会の状況により、授業形態を遠隔授業に変更する場合は、LACSで周知いたします。遠隔講義に変更になった場合、中間、期末テストは課題形式に変更します。 e-learning教材学習テスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/13	Introduction 英語とコミュニケーションスキル 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 4/20	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making PDCAの解説
第3回 4/27	Unit 2,3 言語機能別英会話(2),主語として便利なwe, you, they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回 5/11	Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2)
第5回 5/18	Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回 5/25	Unit1~6 効果的な表現;日本語と英語の比較 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認 伝えたいことが伝えられているのだろうか?
第7回 6/1	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 PDCA再考 Preparation for the Mid-Term:最終確認(ループリックを参考にして)
第8回 6/8	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析

第9回 6/15	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析
第10回 6/22	Unit 8,9 名詞節を使った文(1),(2) Group Making Topicの決定、Mid-Term Examinationの振り返りと修正点の共有 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め(反省点をいかして)
第11回 6/29	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回 7/6	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第13回 7/13	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう!
第14回 7/20	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう! Final Examの準備(Mid-Term Examを省みて修正した事項、ループリックを参考にして最終確認)
第15回 7/27	Final Examination, Group Presentation
第16回 8/3	Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005033	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2E7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Jacobs Nyree / Jacobs Nyree		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Jacobs Nyree / Jacobs Nyree		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Jacobs Nyree / Jacobs Nyree		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	英語コミュニケーション (2E7) / English Communication		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nyree.sensei@gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	before and after class by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This class aims to broaden students' knowledge of the world around them, and improve their discussion skills and critical thinking ability. The course aims to give students more confidence when discussing global issues.		
授業到達目標/Course goals	To broaden students' awareness of current affairs. To help students explore their opinions on various global issues. To assist students to develop skills related to discussion in an English speaking		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Participation 10点 E-learning quizzes 20点 Vocabulary Quizzes 25点 Discussion Questions/Reports 45点		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students will be expected to review the materials from the class each week, revise new vocabulary and grammar structures, and whenever possible seek opportunities to apply knowledge through speaking, reading, and communicating in English outside of class (approx. 1 hour per week).		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	No text book required. Students will be provided with study materials during lessons and be expected to do their own research.		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.  Student Accessibility Office contact information: (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考/Remarks	All classes will be held face-to-face in the classroom with class materials available on LACS after the class.
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction
2nd	Sample lesson Part A
3rd	Sample lesson Part B
4th	Unit 1/Giving Opinions/Reading comprehension
5th	Unit 1/Discussion/Media analysis
6th	Unit 1/Media review/Discussion/Unit review
7th	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 2/Agreeing & Disagreeing/Reading comprehension
8th	Unit 2/Discussion/Media analysis
9th	Unit 2/Media review/Discussion/Unit review
10th	Unit 3/Active listening/Reading comprehension
11th	Unit 3/Discussion/Media analysis
12th	Unit 3/Media review/Discussion/Unit review
13th	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 4/Clarification/Reading comprehension
14th	Unit 4/Discussion/Media analysis
15th	Unit 4/Media review/Discussion/Unit review
16th	Review & wrap-up

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005034	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2P1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:00 ~ 12:50 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	薬剤師として役立つ日常的な健康や医療に関する英会話を通じて、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。平易な英語で情報を聞きとったり、伝えたりする練習をしていきます。また、生きた英語に触れることを通じて、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。		
授業到達目標 / Course goals	健康や医療に関する基礎的な英会話の語彙・表現を習得できる 日常生活の中で遭遇するような場面で、臆せずに平易な英語で情報を尋ねたり、伝えたりできるようになる 音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目10% + 2回目10%) 授業の取り組み : 10% 小テスト : 20% 期末テスト : 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	Power Words Hybrid 自学自習 (1時間/回) 予習 : テキストと配布教材の予習および音読練習 (30分/回) 復習 : 配布資料の見直しと小テストに向けての学習 (1時間/回)		

キーワード/Keywords	英語4技能の習得 コミュニケーション	
教科書・教材・参考書/Materials	「薬局の現場ですぐに役立つ実践で学ぶ薬局の英会話」秀和システム出版	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の授業で計画を説明しますが、状況によって変更になる場合があります。その場合はLACSで連絡します。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席回数が3分の2に達しない場合、考査の受験資格が与えられません。 ただし、欠席届(学生便覧参照)やその他やむを得ない理由については、当該欠席時数について考慮することがあります。  テキストの項目通りには進みません。授業毎に範囲を指示します。予習・復習にしっかり取り組み、授業でアウトプットできるようにして下さい。毎回ペアワークをするので配布資料や課題のプリントを必ず持参して下さい。皆さんの学習意欲と授業への積極的な参加を期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション 会話演習 : Self Introduction	A C
第2回	会話演習 : Asking Basic Questions	A C
第3回	会話演習 : Taking Medical History	A C
第4回	会話演習 : Names of Departments	A C
第5回	会話演習 : Giving Directions in Hospital	A C
第6回	会話演習 : Parts of the Body	A C
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1回目 会話演習 : Symptoms	A C
第8回	会話演習 : Symptoms	A C
第9回	会話演習 : Symptoms	A C
第10回	会話演習 : Medicine	A C
第11回	会話演習 : Medicine	A C
第12回	会話演習 : Patient Accounts	A C
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目	A C
第14回	会話演習 : 総括 Role Play	A C
第15回	会話演習 : 総括 Role Play	A C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005035	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2P2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	薬学部(2P2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	noribei07142007@hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007@hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト (Power Words Hybrid 単語テスト) 20%、課題および小テスト20%、Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。 (2) Presentationの準備を入念に行うこと。 (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Idiomatic American English		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	対面对面
学生へのメッセージ/Message for students	Active participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面对面 Course Outline (導入)
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a Ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 3 Making Ends Meet
第 5 回	対面 Presentation No. 1 Lesson 12 An Eager Beaver
第 6 回	対面 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 15 A Pep Talk
第 8 回	対面 Presentation No. 2 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 9 回	対面 Lesson 20 In the Swing of Things
第 1 0 回	対面 Lesson 25 Coming Through with Flying Colors
第 1 1 回	対面 Presentation No. 3 Lesson 50 A Wet Blanket
第 1 2 回	対面 Lesson 51 A Knockout
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 4 回	対面 Presentation No. 4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	対面 Final Exam

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005036	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにてアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図ることができる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングができる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Speaking Practice (20点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + レポート提出 (20点) + 期末試験 (20点) + e-learning教材学習テスト (20点) 合計100点のうち60点を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容 / Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (合計2時間) ・ 音読練習復習 (15分/回) ・ レポートの為に動画視聴及びレポート作成 (合計5時間)		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備します。日常の英会話で使われる表現・文法事項をアウトプットしながら定着させていきます。またレポート作成を通し授業外でも英語環境を積極的に作る習慣づけを行います。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできた語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第2回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) 各種英語テストに関する説明
第3回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第4回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第5回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第6回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第8回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity (Make groups for a presentation)
第9回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第10回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第11回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第12回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) Group activity
第14回	Presentation
第15回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005037	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2F2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談 (上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「CNN student News Vol. 10」を用い、英語の総合的な基礎力を向上させることを目的とします。授業内で、プレゼンテーションの練習も行い、英語で論理的に自分の伝えたいことを表現できるようになることを目的としています。		
授業到達目標/Course goals	1. ディクテーションを通して、リスニング能力を向上させることができる。2. リーディング能力を向上させることができる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%), 定期試験(40%)、授業参加度 (10点), プレゼンテーション課題(30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unitの最初にあるVocabulary Studyの問題を解いて、わからないところは調べる。そして、それらの単語の用例を調べる。事前に教科書の内容を目を通しておく。わからない単語がある場合は、調べる。また、教科書のTOPICでディスカッションしたい内容を考えておく。(2.0h/回) 2. 授業で習ったことを復習し、確実に内容を理解すること。(1.5h/回) e-learning (合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	CNN Students News Vol. 10, ASAHI PRESS		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。変更がある場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	Unit 1
第3回	Unit 2
第4回	Unit 3
第5回	Unit 4
第6回	Unit 5
第7回	Unit 6,Power Words Hybrid 単語テスト1回目
第8回	Unit 7
第9回	Unit 8
第10回	Unit 9
第11回	Unit 10
第12回	Unit 11
第13回	Unit 12,Power Words Hybrid 単語テスト2回目
第14回	Unit 13
第15回	プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005038	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (2F3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	スピーキングを中心におきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。e-learningの自主学習による学習に加えて、テキストの学習や追加課題で、まずしっかりとした量の英語のインプットによる英語力の基礎固めをし、その上で音読練習をしっかりとし、英語で話すための基本を身につける。ほぼ毎回の授業において協働活動で簡単なプレゼンテーションをし、またグループ・プレゼンテーションを2回授業内ですること、基本的な英語表現力を身につける。英英辞典を使った単語クイズも行う。対面授業/オンライン授業の切り替えによって内容の一部が変更になることがあります。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 簡単な内容についての自分の意見を、英語で相手に伝えることができるようになる。</li> <li>2. 短い英語ニュース程度の内容の要点をつかむことができる。</li> <li>3. 日常的な場面における英語をある程度聞いて理解することができる。</li> <li>4. 英語による基本的な情報交換ができるようになる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(20%) 小テスト(2種類)(15%+15%=30%) 学習参加度・学習報告書(20%) グループ・プレゼンテーション(10%) e-learning教材学習テスト(20%(1回目10%+2回目10%)) オンライン授業となった場合は、評価配分を変更する可能性があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 予習：ユニットのWarm-upからSection2 Listening Checkerまでをしてくることを課題とする（30分～1時間/回）。 復習：授業後に自分の学習ノートに各回の授業から役に立つと考える表現と難しいと思う表現を書き、さらにテキストのReading Aloudの部分の自主練習をする。追加課題のBBCニュース視聴に取り組む。それらをふくめた学習内容を学習報告書としてエクセル・ファイルの様式に記入をして提出をする（30分～1時間/回）。 テキスト内容の理解については、授業中のReview Quizや中間テスト、定期試験で確認する。
キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.
教科書・教材・参考書/Materials	Misato Usukura /Yuichi Suzuki / Christopher Belton 『Speaking Steps』 Kinseido, 2022
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作（辞書で調べる等は除く）等不真面目な態度は減点評価する。対面式授業で欠席した授業については、学習内容報告の評価は原則対象外とする。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業の構成と課題の評価について。英英辞典の利用や、音読練習のコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: What is Important to You?
第3回	Unit 2: My Morning Routine
第4回	Unit 3: Your Recommended Restaurant
第5回	Unit 4: The Best Film Ever
第6回	Unit 5: What is a True Friend?
第7回	e-learning教材学習テスト 1回目 Unit 6: The Best Pizza in Town
第8回	グループ・プレゼンテーションその1
第9回	Unit 7: An Ideal Private Tour Plan
第10回	Unit 8: Useful Apps for Your Smartphone
第11回	Unit 9: A Proposal for New Flavors
第12回	Unit 10: A Great Figure in the Business World
第13回	e-learning教材学習テスト 2回目 Unit 11: Cheese for Uncle David
第14回	Unit 12: The Babysitter #1
第15回	グループ・プレゼンテーションその2
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005039	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (G(英1)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Datzman Brien / Brien Datzman		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Datzman Brien / Brien Datzman		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Datzman Brien / Brien Datzman		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	brien-datzman@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2365		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Before or after class, or by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>Students who participate in this course will learn how to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. create, prepare for, and deliver academic presentations both individually and with partners</li> <li>2. participate in small group discussions centered around specific topics</li> <li>3. take notes on academic lectures and use them to assist in comprehension</li> <li>4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in academic listening texts</li> <li>5. create and distribute a survey using Google Forms</li> <li>6. identify useful external sources of listening practice and present them to a small group</li> <li>7. use Flipgrid to post short videos and respond to classmates' videos</li> </ol>		
授業到達目標 / Course goals	<p>Course Goals</p> <p>This course is designed to introduce students to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. varieties of spoken English encountered in academic contexts</li> <li>2. communicative tasks encountered in academic contexts</li> <li>3. strategies used when speaking English and listening to English</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>Participation 20%</p> <p>Presentations 30%</p> <p>Quizzes 20%</p> <p>Extensive Listening Logs 15%</p> <p>Flipgrid 15%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons. All students should expect to spend about 1 hour preparing for each class, plus 1 hour reviewing the material covered in each class.
キーワード/Keywords	Listening, speaking, critical thinking, TEDTalks
教科書・教材・参考書/Materials	21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking - TED Talks Level 4 by Christien Lee
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	This course is called "Listening & Speaking II" in the KEY Program .  このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.  Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
9/28	Unit 3 - Listen Up! - Discussion and Vocabulary
9/29	Unit 3 - Podcast - Main Ideas & Details
10/5	Unit 3 - Speaking & Listening Strategies
10/6	Unit 3 - Video - Main Ideas & Details
10/12	Unit 3 - Think Critically - Infographic; Quiz 1
10/13	Unit 3 - Workshop for Presentation 1
10/19	Unit 3 - Practice Presentation 1
10/20	Unit 3 - Presentation 1
10/26	Unit 7 - A Good Reputation - Discussion and Vocabulary
10/27	Unit 7 - Podcast - Main Ideas & Details; Speaking & Listening Strategies
11/2	Unit 7 - Video - Main Ideas & Details
11/9	Unit 7 - Think Critically - Infographic; Quiz 2
11/10	Unit 7 - Practice Presentation 2
11/16	Unit 7 - Presentation 2
11/17	Unit 1 - Free Therapy - Discussion and Vocabulary
11/24	Unit 1 - Podcast - Main Ideas & Details
11/20	Unit 1 - Speaking & Listening Strategies
12/1	Unit 1 - Video - Main Ideas & Details
12/7	Unit 1 - Think Critically - Infographic; Quiz 3
12/8	Unit 1 - Group work for Presentation 3
12/14	Unit 1 - Practice Presentation 3
12/15	Unit 1 - Presentation 3
12/21	Unit 5 - Fear Factor - Discussion and Vocabulary
12/22	Unit 5 - Podcast - Main Ideas & Details
1/5	Unit 5 - Speaking & Listening Strategies
1/11	Unit 5 - Video - Main Ideas & Details
1/18	Unit 5 - Think Critically - Infographic; Quiz 4
1/19	Unit 5 - Workshop for Practice Presentation 4

1/25	Unit 5 - Practice Presentation 4
1/26	Unit 5 - Presentation 4

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005040	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (G(英2)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Cupchak David / David Cupchak		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Cupchak David / David Cupchak		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Cupchak David / David Cupchak		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	dcupchak nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	dcupchak nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thursdays 2nd & 3rd period		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Students who participate in this course will learn how to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. create, prepare for, and deliver academic presentations both individually and with partners</li> <li>2. participate in small group discussions centered around specific topics</li> <li>3. take notes on academic lectures and use them to assist in comprehension</li> <li>4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in academic listening texts</li> <li>5. create and distribute a survey using Google Forms</li> <li>6. identify useful external sources of listening practice and present them to a small group</li> <li>7. use Flipgrid to post short videos and respond to classmates' videos</li> </ol>		
授業到達目標/Course goals	<p>Course Goals</p> <p>This course is designed to introduce students to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. varieties of spoken English encountered in academic contexts</li> <li>2. communicative tasks encountered in academic contexts</li> <li>3. strategies used when speaking English and listening to English</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>Participation 20%</p> <p>Presentations 30%</p> <p>Quizzes 20%</p> <p>Extensive Listening Logs 15%</p> <p>Flipgrid 15%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons (2h)		

キーワード/Keywords	Listening, speaking, critical thinking, TEDTalks
教科書・教材・参考書/Materials	21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking - TED Talks Level 3 by Lynn Bonesteele
受講要件(履修条件)/Prerequisites	このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
29 Sep.	Unit 2 - Say It Your Way - Discussion and Vocabulary
4 Oct.	Unit 2 - Podcast - Main Ideas & Details
6 Oct.	Unit 2 - Speaking & Listening Strategies
11 Oct.	Unit 2 - Video - Main Ideas & Details
13 Oct.	Unit 2 - Think Critically - Infographic; Quiz 1
18 Oct.	Unit 2 - Workshop for Presentation 1
20 Oct.	Unit 2 - Practice Presentation 1
25 Oct.	Unit 2 - Presentation 1
27 Oct.	Unit 4 - Beyond Limits - Discussion and Vocabulary
1 Nov.	Unit 4 - Podcast - Main Ideas & Details; Speaking & Listening Strategies
8 Nov.	Unit 4 - Video - Main Ideas & Details
10 Nov.	Unit 4 - Think Critically - Infographic; Quiz 2
15 Nov.	Unit 4 - Practice Presentation 2
17 Nov.	Unit 4 - Presentation 2
22 Nov.	Unit 5 - Stress: Friend or Foe? - Discussion and Vocabulary
24 Nov.	Unit 5 - Podcast - Main Ideas & Details
29 Nov.	Unit 5 - Speaking & Listening Strategies
1 Dec.	Unit 5 - Video - Main Ideas & Details
6 Dec.	Unit 5 - Think Critically - Infographic; Quiz 3
8 Dec.	Unit 5 - Group work for Presentation 3
13 Dec.	Unit 5 - Practice Presentation 3
15 Dec.	Unit 5 - Presentation 3
20 Dec.	Unit 8 - DIY: Do It Yourself - Discussion and Vocabulary
22 Dec.	Unit 8 - Podcast - Main Ideas & Details
5 Jan.	Unit 8 - Speaking & Listening Strategies
10 Jan.	Unit 8 - Video - Main Ideas & Details
17 Jan.	Unit 8 - Think Critically - Infographic; Quiz 4
19 Jan.	Unit 8 - Workshop for Practice Presentation 4
24 Jan.	Unit 8 - Practice Presentation 4
26 Jan.	Unit 8 - Presentation 4

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2023/09/28 ~ 2024/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590005041	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	英語コミュニケーション (G(英3)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Cupchak David / David Cupchak, 西川 美香子		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Cupchak David / David Cupchak		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Cupchak David / David Cupchak		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	dcupchak nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	dcupchak nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursdays 2nd & 3rd period		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>Students who participate in this course will learn how to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. create, prepare for, and deliver academic presentations both individually and with partners</li> <li>2. participate in small group discussions centered around specific topics</li> <li>3. take notes on academic lectures and use them to assist in comprehension</li> <li>4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in academic listening texts</li> <li>5. create and distribute a survey using Google Forms</li> <li>6. identify useful external sources of listening practice and present them to a small group</li> <li>7. use Flipgrid to post short videos and respond to classmates' videos</li> </ol>		
授業到達目標 / Course goals	<p>Course Goals</p> <p>This course is designed to introduce students to:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. varieties of spoken English encountered in academic contexts</li> <li>2. communicative tasks encountered in academic contexts</li> <li>3. strategies used when speaking English and listening to English</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>Participation 20%</p> <p>Presentations 30%</p> <p>Quizzes 20%</p> <p>Extensive Listening Logs 15%</p> <p>Flipgrid 15%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons (2h)
キーワード/Keywords	Listening, speaking, critical thinking, TEDTalks
教科書・教材・参考書/Materials	21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking - TED Talks Level 3 by Lynn Bonesteel
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
28 Sept.	Unit 2 - Say It Your Way - Discussion and Vocabulary
29 Sept.	Unit 2 - Podcast - Main Ideas & Details
5 Oct.	Unit 2 - Speaking & Listening Strategies
6 Oct.	Unit 2 - Video - Main Ideas & Details
12 Oct.	Unit 2 - Think Critically - Infographic; Quiz 1
13 Oct.	Unit 2 - Workshop for Presentation 1
19 Oct.	Unit 2 - Practice Presentation 1
20 Oct.	Unit 2 - Presentation 1
26 Oct.	Unit 4 - Beyond Limits - Discussion and Vocabulary
27 Oct.	Unit 4 - Podcast - Main Ideas & Details; Speaking & Listening Strategies
2 Nov.	Unit 4 - Video - Main Ideas & Details
9 Nov.	Unit 4 - Think Critically - Infographic; Quiz 2
10 Nov.	Unit 4 - Practice Presentation 2
16 Nov.	Unit 4 - Presentation 2
17 Nov.	Unit 5 - Stress: Friend or Foe? - Discussion and Vocabulary
24 Nov.	Unit 5 - Podcast - Main Ideas & Details
30 Nov.	Unit 5 - Speaking & Listening Strategies
1 Dec.	Unit 5 - Video - Main Ideas & Details
7 Dec.	Unit 5 - Think Critically - Infographic; Quiz 3
8 Dec.	Unit 5 - Group work for Presentation 3
14 Dec.	Unit 5 - Practice Presentation 3
15 Dec.	Unit 5 - Presentation 3
21 Dec.	Unit 8 - DIY: Do It Yourself - Discussion and Vocabulary
22 Dec.	Unit 8 - Podcast - Main Ideas & Details
5 Jan.	Unit 8 - Speaking & Listening Strategies
11 Jan.	Unit 8 - Video - Main Ideas & Details
18 Jan.	Unit 8 - Think Critically - Infographic; Quiz 4
19 Jan.	Unit 8 - Workshop for Practice Presentation 4
25 Jan.	Unit 8 - Practice Presentation 4
26 Jan.	Unit 8 - Presentation 4